

# Windows セキュリティ

Windows11 のセキュリティを一括して管理する機能が「Windows セキュリティ」です。ウィルスの脅威からシステムを守る「Microsoft Defender」や、インターネットを経由した外部からの侵入を防ぐファイアウォール、パソコンに危害を加えるアプリのブロックなど、多数の機能を管理できます。

「Windows セキュリティ」には、最初から「Windows Defender」というウイルス対策プログラムが含まれています。「Windows Defender」は、別のウイルス対策アプリをインストールして有効にすると自動的にオフになり、逆に、別のウイルス対策アプリをアンインストールすると自動的にオンになります。

## (1) Windows Defender の有効 / 無効の切り替え

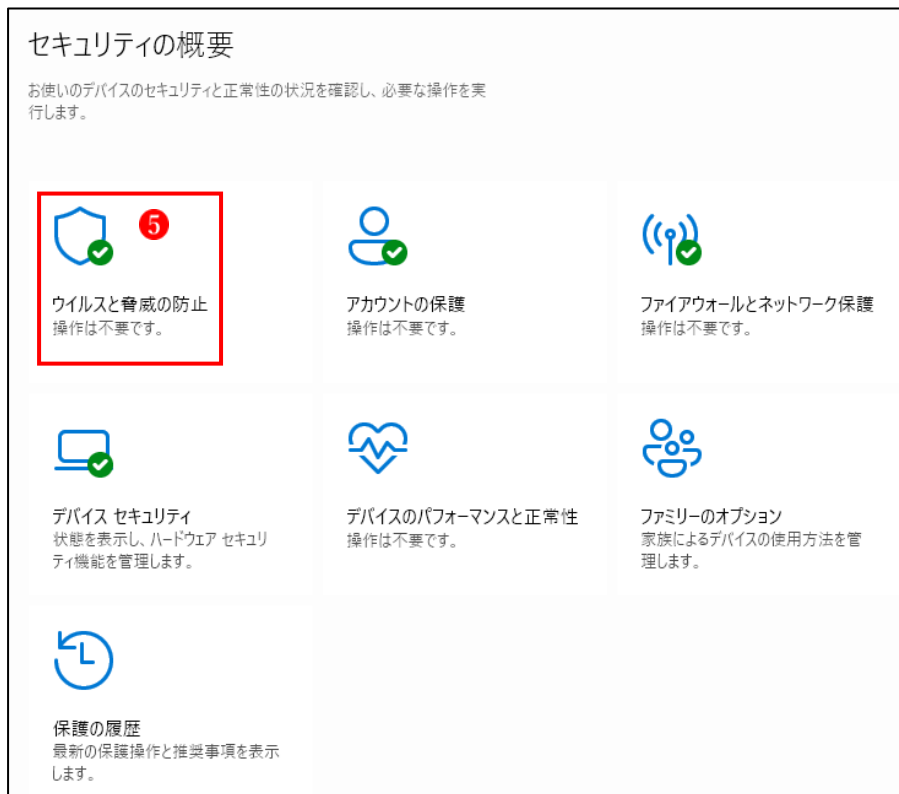
- ① Windows Defender の有効 / 無効の切り替えは、「設定」<sup>①</sup>の「プライバシーとセキュリティ」<sup>②</sup>の「Windows セキュリティ」<sup>③</sup>から行います。



- ② 「Windows セキュリティ」の画面になりますので、「Windows セキュリティを開く」④をクリックします。



- ③ 「セキュリティの概要」が表示されます。  
→ 「ウイルスと脅威の防止」⑤をクリックします。



④ 「ウイルスと脅威の防止」の画面が表示されます。

「ウイルスと脅威の防止」の画面は、他のウイルス対策ソフトがインストールされている場合とそうでない場合で異なる画面になります。

ア 他のウイルス対策ソフトがインストールされている場合

この画面では、「ウイルスセキュリティ」<sup>⑥</sup>というウイルス対策ソフトがインストールされています。従って、Windows Defender を有効にする必要はありません。

ウイルスと脅威の防止

脅威に対するデバイスの保護。

質問がありますか?  
[ヘルプを表示](#)

**ウイルスセキュリティ** <sup>⑥</sup>  
ウイルスセキュリティは有効になっています。

現在の脅威  
✔ 処置は不要です。

保護の設定  
✔ 処置は不要です。

保護の更新  
✔ 処置は不要です。

[アプリを開く](#) <sup>⑧</sup>

現在の保護機能のプロバイダーは?  
[プロバイダーの管理](#) <sup>⑦</sup>

Windows セキュリティの機能向上に協力  
[フィードバックの送信](#)

プライバシーの設定を変更する  
Windows 11 Home デバイスのプライバシー設定を表示および変更できます。  
[プライバシーの設定](#)  
[プライバシー ダッシュボード](#)  
[プライバシーに関する声明](#)

Microsoft Defender ウイルス対策のオプション

★ 状態アイコンの意味

- 緑は、デバイスの保護が十分であり、推奨される操作がないことを意味します。
- 黄色は、推奨される安全性上の操作があることを示します。
- 赤は、直ちに対応をとる必要があることを示します。

→ 「プロバイダーの管理」 <sup>⑦</sup> クリックすると、セキュリティ対策に対応しているプロバイダーが表示されています。

**セキュリティ プロバイダー**  
 デバイスを保護するアプリとサービスを管理します。

質問がありますか?  
[ヘルプを表示](#)

**ウイルス対策**

Microsoft Defender ウイルス対策  
 Microsoft Defender ウイルス対策 は無効になっています。

**ウイルスセキュリティ**  
 ウイルスセキュリティ は有効になっています。

Windows セキュリティの機能向上に協力  
[フィードバックの送信](#)

プライバシーの設定を変更する  
 Windows 11 Home デバイスのプライバシー設定を表示および変更できます。  
[プライバシーの設定](#)  
[プライバシー ダッシュボード](#)  
[プライバシーに関する声明](#)

**ファイアウォール**

Windows ファイアウォール  
 Windows ファイアウォール は無効になっています。

**ウイルスセキュリティ**  
 ウイルスセキュリティ は有効になっています。

**Web 保護**  
 プロバイダーがありません

[Microsoft Store でセキュリティアプリを検索](#)

★ **上記の説明**

- ・「ウイルス対策」は、「ウイルスセキュリティ」が有効になっていて、「Microsoft Defender」は無効になっている。
- ・「ファイアウォール」も、「ウイルスセキュリティ」が有効になっていて、「Windows ファイアウォール」は無効になっている。

→ 「アプリを開く」**8**をクリックすると、インストールされているウイルス対策ソフトが開きます。

★なお、契約の有効期限が過ぎると、当該ウイルス対策アプリは無効になり、自動的に「Windows Defender」に切り替わります。



イ 他のウイルス対策ソフトがインストールされていない場合

「ウイルスと脅威の防止」が表示されます。

→ 「設定の管理」<sup>⑨</sup> をクリックします。



→ 次の項目のスイッチをクリックして、「オン」(有効) / 「オフ」(無効) を切り替えます。

- ・リアルタイム保護
- ・クラウド提供の保護、またはクラウドベースの保護
- ・サンプルの自動送信
- ・改ざん防止

★ スイッチを切り替えたときに「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。



⑤ 「×」 ボタンをクリックし、「Windows セキュリティ」を閉じます。

(2) その他のセキュリティ項目








「ウイルスと脅威の防止」以外のセキュリティ項目⑩は、あまり設定を変更する場面はありませんので、触れる必要はないでしょう。

## プライバシーとセキュリティ > Windows セキュリティ

Windows セキュリティは、デバイスのセキュリティと正常性を表示し、管理するためのホームです。

Windows セキュリティを開く

### 保護の領域

-  ウイルスと脅威の防止  
処置は不要です。 ⑩
-  アカウントの保護  
処置は不要です。
-  ファイアウォールとネットワーク保護  
処置は不要です。
-  アプリとブラウザの制御  
処置は不要です。
-  デバイス セキュリティ  
処置は不要です。
-  デバイスのパフォーマンスと正常性  
デバイスの状態を報告します。
-  ファミリー オプション  
家族がデバイスをどのように使用するかを管理します。